

自己の可能性に挑戦する！

学校が完全に再開してから約1ヶ月経ちました。今までで言えば、ゴールデンウィーク明けの頃の学校生活になったという所でしょうか。新入生の顔つきも、やっと太子高校生らしさが見えてきました。気持ちの余裕が出てきたのでしょうか。生徒の皆さんの様子を見て、「学校に来て、友達と話したり勉強できたりするのは、有り難いことだなあ」と改めて感じています。

とはいいつつも、7月20日(月)からは期末考査が始まります。1,2年次生にとっては1学期の中間考査的なものになりますが、3年次生は進路がかかった大切な考査です。いずれの学年も、いつもの年に比べると授業の回数は十分とはいえませんが、中身は十分なものになっています。臨時休業中に蓄えた学力も総動員して、全力で取り組んでください。

3年間お世話になったALTのマデレン・スミス先生が、7月22日(水)をもって本校での勤務を終了されます。本日の朝、全校放送でお別れの挨拶をいただきました。「3年はあっという間でした。寂しいです」と、おっしゃっていました。3年前、パースからおいでになったのが、つい昨日のこのように思われます。時の流れの速さをつくづく感じます。コロナ感染の嵐が収まって、また海外語学研修が再開できれば、パースでマデレン先生にお目にかかれるかもしれません。そんな時が、早く来ることを願います。

SCHOOL SHOT



1年次生の靴箱です。整然と入れられています。これが当たり前になるようになると、一人前の太子高校生です。もう、すっかり太子高校生ですね。



研究総学の資料用のアンケートが行われています。太子高校の夏の風物詩です。

コロナの影響で、食堂はまだ閉まっています。安心して利用できる日が早く来ますように

